

## 資格として「防災士」は必要かな！

### 1) 防災士とは

防災士とは、「自助・共助・協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動がされ、そのための十分な知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した資格です。年齢・性別・学歴等の制限はなく、原則的に誰でも取得できる資格です。

### 2) 会社にとって必要な資格？

近年は日本も様々な災害発生が認められます。

例えば地震や水害（阪神・三陸方面・能登半島・熊本・・・）の被害が多く、まだまだ普及できていません。進捗状況は遅々としています。逆に大きな被害があった場合は、その地区きくTVニュースなどで取り上げられ、それよりも小さな被害情報はあまり話題にならない気がします。

そんな中、環境マネジメントシステムを構築している組織では、緊急事態への準備とが対応規格で求められています。

ということは?????

会社にとっても何人かは有資格者が在籍していることがプラスになるのではないのでしょうか。

### 3) この資格で何らかの金額を得ることができる？

一般にこの資格でお金を得る！ことはほぼありえませんが、

よほどTVなどで有名になれば講師料金を得ることも可能にはなるのですが、ほんの、一部の方だけです。何よりも自身の経験や知識、技術を増やしていかないと難しいです。常に役に立ってないか、を考えて生活していくことが必要になりそうです。

### 4) ほかに関連する資格はありますか？

少し調べてみたところ、防災介助士という資格がありました。

地震や台風などの災害が起きた際に、どのような行動をすればいいのかを学び、実践に活かせるのが防災介助士です。公益財団法人 日本ケアフィット共育機構が創設した民間資格で2015年に

リニューアルされています。

近年は世界的に大型の災害が頻発しています。日本も例外ではなく、全国各地で大小問わず地震

は頻繁に起こり、毎年のように大型台風が上陸しているような状況です。

国民の防災意識は高まりつつありますが、いざ災害に巻き込まれたときにどのような行動をとれば

いいのかまで理解している人は決して多くはないでしょう。

防災介助士資格は災害を正しく理解し、普段どのように備え、災害時にどう行動すべきかを具体的に学ぶことかできます。そしてこの資格は災害から自分の身を守るためのものではありません。

介助士という名の通り、高齢者や障害者など支援・配慮を必要とされる方（要配慮者 避難

行動要支援者などといいます）を中心に、いつでも起こりうる災害から、彼らを守り支援すを目的とした資格です。化したり、勝手な理由で捨てられたりした結果が多いですね。

### 5) 防災介助士の役割 とは

## 1. 知る

さまざまな災害の特徴と防災方法を理解し、被害を最小限に抑える

## 1. 守る

日頃から災害に備えて行動し、有事の際に自分や大切な人を守る

## 1. 助ける

応急処置や救助方法を身につけ、周囲の人を助ける

## 6) 上記3項目は！！

EMSを進めるときにも、日頃の業務を遂行するときにも、これら上記3項目は必要な事です。EMSは自組織が環境にどんな、どれだけの環境負荷をかけているのか、その恐れがあるのか、を調査して、著しい環境側面を特定し、負荷であれば小さく、プラスであればより大きくしことが要求されます。そしてそれが自組織の利益に繋がれば、社員皆さんの月給や臨時収入影響が出てくることも考えられます。

防災士資格は民間資格です。

資格を取付することによって特別な権利が待たれたり、就職に有利であったりというよ

うな

メリットはありません。

災害などの有事の際、「正しい判断、適切な対応で自分自身と大切な人を守ることができ

る」

ことが最大のメリットとなります。

少しだけ今よりも頑張ってみませんか（事務局）

期待

は  
が大  
ような

が

。

ほんの

ること

2。  
など  
ていく  
に